

# daily コラム

2021年12月24日(金)

〒308-0842 茨城県筑西市一本松 624-3

税理士法人和敬会筑西事務所 TEL 0296-22-3689 FAX 0296-25-0627

Email [tfc@wakei-kai.com](mailto:tfc@wakei-kai.com)

## VRIO分析とは ～会社の経営資源の分析～

### VRIO 分析とは？

VRIO 分析とは、価値 (value)、希少性 (rarity)、模倣困難性 (inimitability)、組織 (organization) の4つの点から、自社の経営資源の分析をする方法です。昨今は社会の変化スピードも目まぐるしく、コロナの影響で会社の強みが活かされなくなってきた、という方もいらっしゃると思います。初心に立ち返り、今一度会社の持つ経営資源の洗い出しをしてみたいかでしょうか？ 分析に利用する4つの観点は以下の通りです。

①価値：会社の持っている資源に価値はあるのか。その資源や能力があれば、外部環境の機会を逃さず脅威に打ち勝つことができるか、ニーズがあるのか。この時点でNoの場合は「競争劣位の状態」となります。

②希少性：会社の持っている資源は珍しいものか。競争相手もその資源を保有していれば希少性は下がるし、保有していなければ希少性は上がる。例えば「競合先も保有している資源である」という場合は、「競争均衡の状態」になっている資源となります。

③模倣困難性：会社の持っている資源は真似し辛いか。真似しようとするコスト面で不利になったり、特許を取得していたり

することによって模倣が困難かどうか。この時点でNoの判定ならば「一時的な競争優位の状態」になっている資源となります。

④組織：その資源を使える組織力があるか。資源や能力を十分に引き出し発揮できる会社・組織になっているか。この時点でNoであれば「持続的な競争優位であるが資源を最大限生かしていない状態」となります。

### 分析の手順は常にV→R→I→Oで

VRIO 分析は常に「価値→希少性→模倣困難性→組織」の順で行います。4つの項目がすべてYesであれば、「持続的な競争優位であり、資源を最大限生かしている状態」と言えます。

このVRIO分析はSWOT分析と同じように、会社の保有している資源の強み弱みを明確にして、強みを生かした戦略や、弱点を補完する方法を考える出発点になります。



著名な他社のサービスや経営資源についてもVRIO分析をすると、より理解しやすいかと思います。